

SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2014 Summer Edition

SAF日本事務局 ディレクターより： 日本そしてアジア全体における SAF の活動について

アジアで本格的に活動をスタートさせた2006年から2014年までの間に、SAFは合計4,500人(内、日本からの派遣者数は2,600人)の優秀なアジアの学生を、欧米圏の大学による1学期・1年間の留学プログラムへ派遣しました。

日本においては、2014年4月の日米首脳声明に「日米二国間交流の規模を2020年までに2倍にすることを目標にする」ことが盛り込まれたことにより、高等教育機関には米国への学生派遣、そして米国からの学生受入れの促進が求められていくでしょう。また、2014年度から日本政府による大規模な事業「スーパーグローバル大学創設支援」がスタートします。本事業に採択されるかどうかに関わらず、日本の社会のニーズに応じていくためにも、よりダイナミックに大学全体の国際化を進めながら、学生モビリティの更なる促進に取り組んでいくことになるでしょう。

交換留学のみに依存する形での留学促進の難しさ、限られたマンパワーと予算をどのように使うかなど、現場からは様々な問題が聞こえてきますが、SAFが推奨する国際大学ネットワークを活用した留学促進モデルは、一つの打開策になると考えています。例えば、SAFのネットワークに加盟することで、学生の留学の質を維持しながら、早いスピードで学内の留学派遣者数を増やしていくことができるといったメリットを享受することができます。またその結果、ダブルディグリープログラムや短期留学プログラムなど新しい留学プログラムの



SAF日本事務局ディレクター プレット・ラミンジャー

開発、または海外からの学生受入れ体制の整備や促進などの業務に、大学の教職員がより集中できる環境を生み出すことができます。日本では比較的新しいモデルですが、少しずつ浸透してきました。2014年3月に国立大学としては2大学目となるお茶の水女子大学がSAFネットワークに加盟し、日本の加盟大学数は14大学となりました。

また、日本の大学において4学期制の導入が積極的に検討されている状況を加味し、SAFでは欧米圏の大学と連携しながら、サマーセッションの留学プログラム開発を積極的に行っています。半年や1年間の留学が難しい学生でも、欧米の大学の授業を履修して単位を取得できる留学のオプションを設けることで、大学生の留学促進を後押ししていきたいと考えています。

各国の大使館や政府機関との連携も活発化しています。SAF日本事務局は、2014年よりスタートした「TOMODACHI住友商事奨学金プログラム」の運営面を担当することになりました(詳細は中面左下を参照)。また、官民協働留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」にも注目しており、今後SAFの多くの学生が挑戦するようにサポートしていく予定です。中国、カザフスタン、ブルネイなどにおいても、大学生の留学を促進させるために政府機関と連携をしており、既に多くのSAFの学生が、政府による奨学金によって留学を実現させています。

今後もアジアの大学の国際化に貢献していくよう、様々な関連機関と連携しながら発展していくことを目指していきます。

SAFネットワーク校一覧

<p>アメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> アーカンソー大学 アイオワ大学 アメリカン大学 アラバマ大学 アリゾナ州立大学 アリゾナ大学 インディアナ大学 カリフォルニア大学 サンタバーバラ校 カリフォルニア大学 サンティエゴ校 カリフォルニア大学 パークレー校 エクステンション カリフォルニア大学 リバーサイド校 	<ul style="list-style-type: none"> カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 コロラド州立大学 コロラド大学 ボルダー校 コロンビア大学 ゴンザガ大学 サン/ゼ州立大学 サンフランシスコ州立大学 ジョンズ・ホプキンス大学 デュレクセル大学 ニューヨーク州立大学 パツファロー校 バテュー大学 バーモント大学 バンダービルト大学 ペンシルバニア大学 マウント・ホリオーク大学 	<ul style="list-style-type: none"> ミシガン州立大学 ミシシッピ大学 ミネソタ大学 モンタナ州立大学 モンタナ大学 ユタ大学 ワシントン大学国際関係学部 ISAYAインスティテュート <p>カナダ</p> <ul style="list-style-type: none"> カルガリー大学* トロント大学 <p>イギリス</p> <ul style="list-style-type: none"> ウェストミンスター大学 エジンバラ大学 	<ul style="list-style-type: none"> オックスフォード大学 セント・アンス・カレッジ グラスゴー大学 ブリストル大学 ロンドン芸術大学 ロンドン大学 クイーン・メアリー校 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン <p>アイルランド</p> <ul style="list-style-type: none"> アイルランド国立大学 ダブリン校* リムリック大学 <p>オーストラリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ウーロンゴン大学 	<ul style="list-style-type: none"> クイーンズランド大学 ニューサウスウェールズ大学 <p>ニュージーランド</p> <ul style="list-style-type: none"> オタゴ大学 <p>ヨーロッパ言語</p> <ul style="list-style-type: none"> フランス: アンジエ・カトリック大学* スイス: ローザンヌ大学 ドイツ: ライプツィヒ大学 スペイン: レオン大学* <p>* 語学力強化プログラムのみの提供となります。</p>	<p>SAF国際キャリア開発プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカン大学 ワシントン・セメスター・プログラム エジンバラ大学 パーラメント・インターンシップ・プログラム FIE ロンドン・インターンシップ・プログラム FIEロンドン短期 国際キャリア開発プログラム AICニューヨーク/シンガポール短期 国際キャリア開発プログラム
--	---	---	---	--	---



お茶の水女子大学「グローバルに活躍する女性リーダー育成に向けて」

お茶の水女子大学
大学院人間文化創成科学
研究科 教授
教育研究評議員
(国際担当)
石井クンツ昌子 様

「女性の力をもっと世界に」というテーマのもと、お茶の水女子大学は、語学力・社会性・IT活用などさまざまな面で「グローバル力」の強化を通じて、国際的に活躍する女性リーダーの育成に取り組んでいます。2012年度には文部科学省グローバル人材育成推進事業の全学型に採択され、本学の学生のグローバル化が急速に進んでおり、この事業の中でもっとも力を入れて取り組んでいるのが学生の海外留学推進です。

本学では、23か国約60の交換留学提携校

へ学生を長期履修や短期語学研修の目的で送り出してきました。これまでの協定校はアジア圏の大学に偏っていたために、過去5年間は英語圏及びヨーロッパ言語圏大学との協定締結へ向けて努力をしてきました。その結果、米国やヨーロッパの交換留学提携校は確実に増えました。しかし、今後の更なる留学推進と学生の多様なニーズにこたえるためには、個々の協定校を開拓すると同時に、英語圏の多くの大学とのネットワークと多様な留学プログラムを持つSAFとの協定締結が重要であるとの考えに至りました。SAFの持つネットワーク内の英語圏の大学は高い教育水準とハイオリティの留学プログラムを提供していることも本学がSAFと協定を結んだ大きな理由のひとつです。本学の学生が海外の著名な大学で質

の高い留学経験をするにより、グローバルに活躍できる女性リーダーに育っていくことが可能になると思います。

今後、本学とSAFとの業務提携に期待することは、SAFの海外大学ネットワークを通じて本学のより多くの学生が海外のトップクラスの大学で学習経験ができること、そして学生の海外留学へのモチベーションを高めるために本学が行なう研修や説明会などに対して、SAFの留学のプロのスタッフからアドバイスをいただきたいということです。また、英語力はグローバル力を高めるうえで必須であると考えていますので、語学力強化のプログラムに関しての情報提供に期待しています。

「TOMODACHI住友商事奨学金プログラム」をSAFが運営

**TOMO
DACHI**

 **Sumitomo Corporation**

SAFは、米国大使館と公益財団法人米日カウンシル-ジャパンが主導する日米交流事業「TOMODACHIイニシアチブ」と住友商事株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:中村 邦晴、以下「住友商事」)が立ち上げた教育プログラム「TOMODACHI住友商事奨学金プログラム」の運営面を担当します。本プログラムでは、住友商事株式会社がTOMO

DACHIイニシアチブのストラテジック・パートナーとして米国の大学への交換留学生を経済的に支援すると同時

に、留学中には米州住友商事による数日間の研修の機会が提供されます。2014年から4年間に渡り支援される本プログラムの初年度となる今年は、慶應義塾大学の学生2名、東北大学の学生1名が見事合格されました。

SAFは、国際教育に力を入れている大学との強いネットワークや、米国などの海外の大学へ多くの大学生を派遣する中で培ったノウ

ハウを駆使し、今後もTOMODACHIイニシアチブと協力をして日米の若いリーダーの育成に貢献していきます。

TOMODACHIからのメッセージ



TOMODACHI イニシアチブ
事務局長

ローラ・ウインスロップ・アボット 様

『TOMODACHIイニシアチブ』とは在日米国大使館と米日カウンシルが、教育や文化交流、そしてリーダー育成のプログラムなどを提供することで、次世代を担う日米の若者たちに投資する活動です。初年度に選ばれた3名の学生は、このプログラムを通じてTOMODACHI精神を具体化し、素晴らしい日本の大使として米国で活躍してくれることでしょう。彼等が、プログラム終了後も日本と米国の架け橋となってくれることを願っています。

TOMODACHI イニシアチブとは

ウェブサイト <http://usjapantomodachi.org/ja/>

TOMODACHI イニシアチブとは、公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンと東京の米国大使館が主導する官民パートナーシップです。東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指します。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

SAF日本事務局の活動内容

〔設立〕2000年

〔活動使命〕SAFは大学生の国際交流促進という使命のもと、国際的な大学ネットワークを組織し、1学期から1年間の質の高い留学機会を学生に提供することを目指しています。

〔活動種類〕

①留学プログラムの提供

「ジェネラル・プログラム」

交換/協定留学以外の認定/私費留学オプションとして、国際センターとの協力提携のもと、SAF留学プログラムを学生に提供します。

〔カスタム/セミカスタム・プログラム〕

特定の学部・学科におけるグループ留学プログラムを大学と共同企画・運営します。カリキュラムに組み込まれた留学プログラムを担当するため、大学のニーズやプログラムの規模に応じて専任のSAFプログラムコーディネーターが大学内に常駐します。

②専門知識・人材の提供

大学内の留学プログラムの運営や学生アドバイス等の国際関連業務に対して専門知識の提供ならびに必要な応じたSAFのスタッフ派遣を実施しています。

〔メンバー大学〕 沖縄国際大学、お茶の水女子大学、

関西学院大学国際学部、慶應義塾大学、駒澤大学、信州大学、昭和女子大学、中央大学、東京理科大学、東洋大学、南山大学、日本女子大学、明治大学、立教大学

(2014年7月現在)

〔加盟に必要な手続き〕

メンバーシップの形態	手続き	費用
フルメンバー	MoU	入会金・年会費など メンバー費不要
カスタム・プログラム	契約	各大学・特定学部 との契約に基づく

NAFSA「ポスター展示会」への出展報告

毎年5月末に開催されるNAFSA: Association of International Educatorsの年次総会へ、本年度もSAFアメリカ本部および各国事務局から総勢13名が参加しました。今年のサンディエゴ大会は過去最高の約1万人、89ヶ国からの国際教育に携わる人々が集いました。総会開催中の会場では、各国の大学や組織、団体、企業のブースが並び、多くのセッション、ミーティング、レセプションが実施されます。

SAF日本事務局は、明治大学経営学部特任講師のAnnette Bradford先生と共同でポスターを出展いたしました。"Inward Looking?

Student Perspectives on Study Abroad"というSAFでも関心を寄せているトピックを取り上げ、「日本の大学生の"内向き"志向」について、「本当に"内向き"なのか」「"内向き"なのであればその要因は何か」を調査しました。SAFへ過去に問合せをくれた学生へ「留学に伴う不安は何か?」と、匿名のアンケートで回答を求めたところ、「語学力」と回答した学生が一番多く、それ以外では「経済的な不安」「就職活動との兼ね合い」「単位交換や卒業年数」が上位に上がりました。

ポスター展示中の90分間では、日本人の受入れに興味を持つ米国とカナダの大学の付属語学学校の教職員から多く声がかかりました。そして、「英語」のスキルアップのみを目的としたコース内容に留まらず、コンテンツベースの英語教育や就職活動で役立つ内容(レジメの書き方、パブリックスピーチ、ビジネス英語など)を充実させる必要性などについて議論を交わしました。SAFでは今後も学生の声を拾い、国際教育の現場におけるニーズを発信していきたいと思っております。



明治大学経営学部特任講師 Annette Bradford先生(左)、SAFプログラム運営・学生支援マネージャー 藤本実千代(右)

駐韓米国大使によるレセプション

韓米間の学生モビリティの促進におけるSAFおよびSAFメンバー大学の功績を讃えるレセプションパーティーが2014年4月にソウルの米国大使公邸にて実施されました。ソン・キム駐韓米国大使が主催した本パーティーへは、各国の外交官、韓国のSAFメンバーである23の大学の学長/副学長/学部長/国際交流センターのディレクターおよびSAFのプレジデント/各国事務局のディレクターに加え、特別ゲストおよびSAFのホスト大学代表として米国コロラド州立大学学長のDr. Anthony Frankが招待され、約80名の関係者が一同に集まりました。

本パーティー内で行われたソン・キム駐韓米国大使、Dr. Anthony FrankおよびProf. John Belcher (SAF プレジデント)によるスピーチを通して、更に高いレベルでの国際化を目指すためにはSAFおよびSAFメンバー大学間での協力が欠かせない旨が確認されました。またSAFプログラムを通して米国の

大学に留学した韓国人学生も複数名招待され、留学を通して得られた有意義な経験についてプレゼンテーションを行いました。駐韓米国大使と大勢のゲストの前で米国への留学経験者を代表して自らの体験を語った学生にとっても、貴重な機会となったようです。

SAFは各国大使館および政府機関と緊密に連携し、今後も更なるアジアの学生モビリティ促進と国際理解のために活動を続けていきます。



Dr. Jim Cooney (左前)、Prof. John Belcher (左後)
Dr. Anthony Frank (右後)、ソン・キム駐韓米国大使 (右前)

SAF アジアメンバー大学一覧

日本

- 沖繩国際大学
- お茶の水女子大学
- 関西学院大学国際学部
- 慶應義塾大学
- 駒澤大学
- 信州大学
- 昭和女子大学
- 中央大学
- 東京理科大学
- 東洋大学
- 南山大学
- 日本女子大学
- 明治大学
- 立教大学

韓国

- Catholic University of Korea
- Chonbuk National University
- Chonnam National University
- Chung-Ang University
- Chungbuk National University
- Dankook University
- Dongguk University
- Hankuk University of Foreign Studies
- Hanyang University
- Hongik University
- Incheon National University
- Inha University
- Kangwon National University
- Kongju National University
- Kookmin University
- Korea University
- Kyungpook National University
- Myongji University
- Pohang University of Science and Technology
- Pusan National University
- Seoul National University
- Seoul Women's University
- Sogang University
- Sookmyung Women's University
- Soongsil University
- Sungkyunkwan University
- University of Seoul
- Yonsei University

中国

- Beijing Forestry University
- Beijing Institute of Technology
- Beijing Jiaotong University
- Beijing Normal University
- Beijing University of Chemical Technology
- Beijing University of Posts & Telecommunications
- Capital Normal University
- Central China Normal University
- Central University of Finance & Economics
- China Pharmaceutical University
- China University of Mining & Technology
- China University of Mining & Technology, Beijing
- China University of Petroleum
- China University of Political Science & Law
- Communications University of China
- Dalian Maritime University
- Dalian University of Technology
- Dongbei University of Finance & Economics
- Donghua University
- East China Normal University
- East China University of Political Science & Law
- East China University of Science & Technology
- Fujian Normal University
- Fuzhou University
- Guangdong University of Foreign Studies
- Hainan University
- Huazhong University of Science & Technology
- Hunan University
- Jinan University
- Lanzhou University
- Nanchang Hangkong University
- Nanjing University of Aeronautics & Astronautics
- Nanjing University of Science & Technology
- Nankai University
- North China Electric Power University
- Northeast Normal University
- Northeastern University
- Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)
- Shaanxi Normal University
- Shandong University
- Shanghai Finance University
- Shanghai Jiaotong University
- Shanghai Maritime University
- Shanghai Normal University
- Shanghai University of Int'l Business & Economics
- South China University of Technology
- Southeast University
- Southwestern University of Finance & Economics
- Taiyuan University of Technology
- Tianjin University
- Tongji University
- University of Electrical Science & Technology of China
- University of International Business & Economics
- University of Science & Technology Beijing
- Xiamen University
- Xi'an Jiaotong University
- Xi'an Jiaotong-Liverpool University
- Zhongnan University of Economics & Law

台湾

- Feng Chia University
- National Chiao Tung University
- National Chung Cheng University
- National Taiwan Normal University
- National Taiwan University
- National Tsing Hua University
- National Yang Ming University
- Tunghai University
- Yuan Ze University

マレーシア

- University of Nottingham - Malaysia

ブルネイ

- Universiti Brunei Darussalam

カザフスタン

- International Academy of Business (IAB)
- KIMEP: The Kazakhstan Institute of Management, Economics and Strategic Research
- Nazarbayev University

(2014年7月現在)

TOEFL ITPでの出願受付スタート

各国アジアのトップレベルの大学から優秀な大学生を派遣してきた実績が評価され、2014年秋出発よりTOEFL ITPでのSAFプログラムへの出願が認められることになりました。現時点では限定された大学のみとなりますが、より多くの大学にTOEFL ITPでの出願を認めてもらえるよう、アメリカ本部が中心となり、今後も継続的にホスト大学と交渉をしていく予定です。これに伴い、SAF日本事務局内でも2014年8月より定期的にTOEFL ITPの試験を実施します。TOEFL iBTの約1/6の費用で受験できるため、学生の経済的負担が軽減されることを期待しています。また、TOEFL ITPでは図ることのできないスピーキングやライティングについては別途勉強した上で留学に臨むよう、出発前オリエンテーションなどを通して徹底して指導していく予定です。

SAFプログラムでTOEFL ITPでの受験を認めている大学(2014年7月現在)

留学先大学	IELTS	TOEFL iBT	TOEFL ITP
モンタナ大学	5.5	61	500
ミシシッピ大学	5.5	69	523
サンフランシスコ州立大学	6.0	61	550
サンノゼ州立大学	6.0	71	550
カリフォルニア大学リバーサイド校	6.5	79	550
パデュー大学	6.5	79	550
ユタ大学	6.5	80	550

※ 上記は学部授業履修プログラムに必要な英語力です。
 ※ 語学力強化+学部授業履修プログラムについては、上記を含むすべての米国の大学へTOEFL ITPで出願できます。

SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

University of Edinburgh 学部授業履修プログラム
(2013 Academic Year)

明治大学
経営学部経営学科/4年
荒井 亜友さん

私は大学3年生の2013年の9月から大学4年生の2014年の6月までイギリスのエディンバラ大学のBusiness Schoolに留学をしました。エディンバラはイギリス北部のスコットランドの首都で、街そのものが世界遺産に指定されているとても美しい街です。私が苦労したことを、英語、勉強、人間関係の3つの面に分けてお話ししたいと思います。

まず英語です。渡航前から日本では「留学生の友達としかつるまなない主義」を貫いていた私は英語力にはかなり自身がありました。エディンバラに着いて



から大きな衝撃を受けました。というのもスコットランド地方で話される英語はBritish Englishとはまた違い、独特の訛りや言葉があったためです。大学が行っている英語のレッスンやTandemという言語交換を目的としたイベントを通して、スコットランド英語を理解しようと努力しました。

次に勉強面です。授業の形態は日本の大学と全く異なっています。まず1学期につき3コース受講することができます。1コースの構成は週に60分の授業が2コマと60分のチュートリアルが1コマあります。チュートリアルで全く発言できないなど初めの数ヶ月はついていくのにとっても苦労しましたが、このままではいけないと思い週に4日は図書館の閉館時間まで勉強しました。

2学期目のグループプロジェクトも大変でしたが色々な国の出身の人たちとともに作業するのはとても楽しくて勉強面も楽しめるようになりました。結果この1年間一つも単位を落とすこと無く留学を終えました。

最後に人間関係の面です。仲の良い日本人以外の友達を作るのは大変ですが、積極的に話しかけて仲良くなりたいという意思を示せば、本当の友達はたくさんできます。1学期目は1年生(18歳)ばかり住む寮に住んでいましたが、仲良くなったスコットランド人とアメリカ人とベルギー人の友達とアイルランドに旅行に行くまでになりました。その際の友達とイースターには北欧を周遊しました。酸いも甘いも経験し

て、私は何周りも大きく成長して日本に帰ることが出来たと思います。あのまま日本にいたら、自分の価値観が絶対だと思いつけていたろうし、これほどたくさんのことを受け入れられる寛容さ、困難なことにも立ち向かうタフさも手にいれられなかったらと思うています。楽しいことよりむしろ辛いことのほうが多くあるでしょう。理不尽で許せないことがたくさんあるでしょう。ですが、絶対に留学したことを後悔する人はいないと思います。多くの後輩が留学を通して成長できるよう、今後、これから留学を考える方の相談役をこなしていきたいと考えています。

SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局
ディレクター
ブレット・ラミンジャー



SAF日本事務局
副ディレクター
大学担当
留学プログラム開発
松田 晴子



SAF日本事務局
副ディレクター
プログラム運営・学生支援
福田 久美子



大学担当
留学プログラム開発
マネージャー
廣見 道子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
兎玉 有子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
藤本 実千代



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
菊池 拓介



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
折目 真由実



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
渡辺 梨詠



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
ウエングル 和加子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
中里 祥子



プログラムコーディネーター
立教大学
異文化コミュニケーション学部
宮谷 萌



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
慶應義塾大学
短期海外研修プログラム担当
細井 美那



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局
http://japan.studyabroadfoundation.org